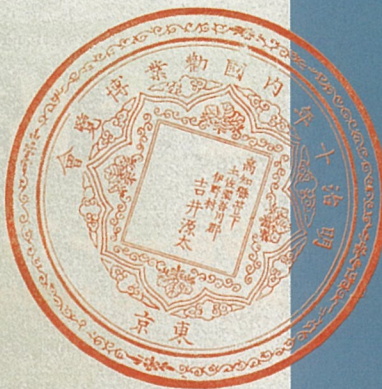


吉井源太と土佐の紙すき

2026年

9月19日(土) ↓ 11月29日(日)



【会期中のイベント】●:事前申込制

●浮世絵手摺り実演会

10月12日(月・祝)

●講演会「吉井源太の功績

ー東京での活動を中心にー」

11月3日(火・祝)

■手すき和紙実演会

11月23日(月・祝)

■紙すき教室

毎週土曜・日曜、9月21日(月・祝)



PAPER MUSEUM

公益財団法人

紙の博物館

〒114-0002 東京都北区王子1丁目1番3号
TEL (03) 3916-2320 FAX (03) 5907-7511
<https://papermuseum.jp/>

吉井源太と土佐の紙すき

2026年9月19日(土)～11月29日(日)

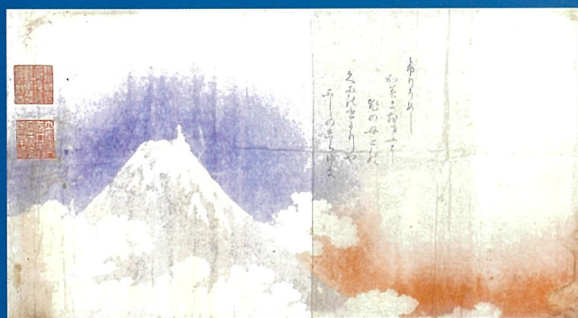
【会期中の休館日】月曜日【祝日は開館】、9/24(木)、10/13(火)、10/14(水)、11/4(水)、11/24(火)、11/25(水)

吉井源太(1826-1908)は、現在の高知県のいの町の御用紙漉きの家に生まれました。源太が生きた幕末から明治時代は、製紙の世界が伝統的な手すき和紙から、西洋式の機械で大量生産される洋紙へと移り変わる大きな転換期でした。

そうした中、源太は、製紙用具の改良や原料栽培の奨励、新しい紙の開発、販路の拡大に取り組み、土佐和紙発展の礎を築きました。その功績から、「土佐紙業界の恩人」と称されています。

さらに、その活動は土佐にとどまらず、全国各地で製紙技術を伝え、その集大成として『日本製紙論』を著すなど、生涯を通じて和紙の近代化に尽力しました。

本展では、生誕200年を記念し、吉井源太の功績と土佐の製紙業について紹介します。



富士山漉き入れ額面紙



土佐の大桁

関連イベント(事前申込制あり)

●浮世絵手摺り実演会「摺師の技を生解説」

10月12日(月・祝) 13:30～15:00 ※事前申込制

浮世絵版画の摺りの工程を最初から完成まで、解説付きで通して実演する。

●講演会「吉井源太の功績 ー東京での活動を中心にー」

11月3日(火・祝) 14:00～15:30 ※事前申込制

明治期に開催された内国勧業博覧会を中心に、吉井源太の功績を研究家・村上弥生氏が語る。

●手すき和紙実演会

11月23日(月・祝) 13:30～15:00

ユネスコ無形文化遺産に登録された「細川紙」の伝統を継承する埼玉伝統工芸士・谷野裕子氏による実演。



詳細はホームページ

■その他のイベント:「紙すき教室」 毎週土曜・日曜、9月21日(月・祝) 13:00～14:00



公益財団法人

紙の博物館

〒114-0002 東京都北区王子1丁目1番3号
TEL (03) 3916-2320 FAX (03) 5907-7511
<https://papermuseum.jp/>

【開館時間】 10:00～17:00(最終入館16:30)

【休館日】 月曜日【祝日は開館】、祝日直後の平日、年末年始、臨時休館日

【入館料】 一般400円(320円)/小中高200円(160円)
※()内は、20名以上の団体料金

*身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者福祉手帳をお持ちのご本人は無料、介助の方は半額となります。



- ・JR京浜東北線 王子駅(南口) 徒歩5分
- ・東京メトロ南北線 西ヶ原駅 徒歩7分
- ・東京さくらトラム(都電荒川線) 飛鳥山停留場 徒歩3分
- ・都営バス(王40甲・王55・草64系統) 飛鳥山停留所 徒歩4分
- ・北区コミュニティバス 飛鳥山公園停留所 徒歩3分

次期展示

ミニ展示「張子」

12月12日(土)～2月28日(日)

企画展

「広井敏通
ペーパーファンタジーの世界」

3月13日(土)～5月23日(日)